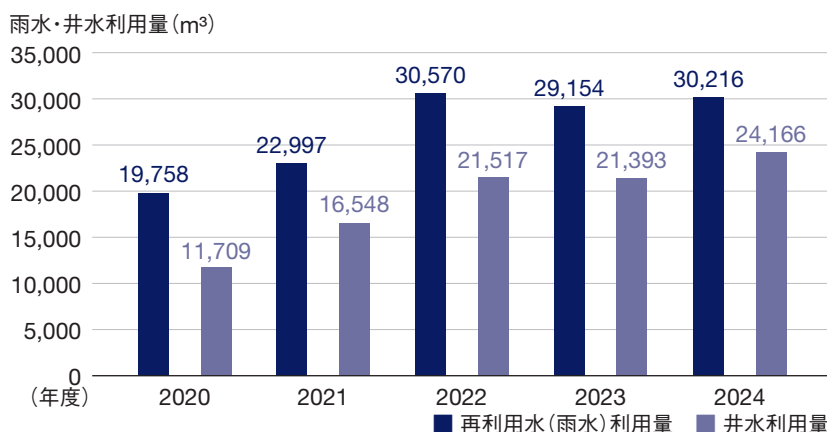


6.安全な水とトイレを世界中に

水道使用量削減への取り組み

三田、日吉、信濃町キャンパスおよび大学病院では、雨水を処理し、再利用水としてトイレの洗浄水などに使用しています。また、湘南藤沢キャンパス(SFC)では、独立型自家用専用水道「地下水膜ろ過システム」を使用して井水を雑用水および飲料用として、信濃町キャンパスおよび大学病院では、災害用井戸システムを設置して日常的にも井水を雑用水として使用しています。

再利用水(雨水)・井水利用量



直近一年の変化 | 評価 😊

女性のからだ支援～Breezeプロジェクト～生理用品の無償配付

慶應義塾では、女性のからだ支援「Breezeプロジェクト」の一環として、経済状況による生活不安を抱える女子学生を対象に、生理用品の無償配付を実施しています。2024年度は、4月、7月、10月、1月の4回募集を行いました。また、生理用ナプキン無料提供ディスペンサーOiTr (<https://www.diversity.keio.ac.jp/breeze/breeze.html>)をすべてのキャンパスに導入しています。女子学生の生理に伴う心やからだの負担軽減とジェンダーギャップの是正に寄与し、快適な大学生活を送るための一助となることを目指しています。並行して専門医によるからだセミナーの開催や保健管理センターに「女性のからだ・男性のからだ相談室」を開設しています。

塾生会議プロジェクトの活動

塾生会議の提言を踏まえて提出された企画は、学内の審査委員会で審議され、採択されたものがプロジェクトとして稼働します。

ウォーターサーバープロジェクト

全キャンパスに設置された46台のウォーターサーバーの認知度・利用率を上げるため、2024年5月～6月に各キャンパスにおいて麦わらを配合したボトルの無料配布と、景品が当たるスタンプラリーを実施しました。

今後は、設置・管理を担う管財部や協生環境推進室と共に、利用のさらなる定着のため、公式SNSや大学の広報を活用した情報発信の強化や、設置場所ごとの利用率を分析し、より多くの人にとって便利な場所への再配置や追加設置などを検討していきます。



麦わら配合ボトルの無料配布